



発行
愛知県立春日台特別支援学校
春日井市神屋町 713-8
Tel (0568)41-8751

やっぱり大好き春日台

教頭 伊藤 徹

今年の春陽まつり（本校文化祭）は「五十周年記念」と冠して、オープニングセレモニーのスライドで五十年の歴史を振り返りました。開校当時は小中学部の児童生徒八十二名でスタートした春日台ですが、その後、高等部の開設などにより幼児児童生徒数は年々増え、それに合わせて校舎が増築されたり、体育館が作られたりしていきま

した。写真に写る学校行事や授業の様子から、時代の移り変わりこそあれ、今も昔も変わらず、笑顔で元気に頑張る春日台のお子さんの伝統が、脈々と受け継がれていることが伝わってきました。

当日は、御来賓、保護者、卒業生など、関係の多くの皆様に御来校いただきました。中でも卒業生の皆様には、開会が待ち遠しいといった様子で、朝早くから多くの方にお越しいただき、五十周年キャッチフレーズの「やっぱり大好き春日台」の思いがあふれてい

るなど感激しました。多くの関係の皆様にも温かく支えていただいていることに、改めて、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後とも、お子さんや保護者の皆様に、在校中はもちろん、卒業後も「やっぱり大好き春日台」と思っていたいただけるよう、教職員が「ワン・チーム（今年の流行語大賞）」となって頑張つてまいりますので、引き続き御理解、御協力のもと、よろしくお願いいたします。



春陽まつり(幼・小学部)

幼・小学部の春陽まつりは、小学部玄関前のロータリーや教室、遊戯室、体育館を使って発表が行われました。春陽まつり当日は、それまでの練習の成果がよく出て、子どもたちも笑顔いっぱいでの発表ができたと思います。

前日から、「見に来てくれるよ」と、少し緊張気味に話をする児童がいました。いつもは、あまり見られていないことを意識していなくても、この日は特別な日だと感じているようでした。一生懸命に発表しようとする気持ちが伝わってくるようで、うれしく思いました。

発表当日は、多くの御参観をいただき、ありがとうございました。子どもたちにとっても、良い思い出ができた一日でした。



春陽まつり(中学部)

中学部では、一年生が「はるひの果てまでイッテQ」と題し、各教室で発表を行いました。世界の祭りをイメージしたゲームや、迫力満点の龍舞、ラントンの飾り付けもとても幻想的でした。来場者もパスポートを手に笑顔で世界を巡りました。二年生は「かさじぞう」の発表を遊戯室で行いました。

歌や振り付けなど春日台オリジナルのかさじぞうに、発表前は「緊張する、どうしよう」と話していた生徒も、本番では、仲間と肩を組みながら笑顔で演じ切っていました。三年生は「アラジン」の劇を発表しました。それぞれの生徒のもつ個性を登場人物に重ね合わせ、全員が心を一つにして中学部最後の発表を行いました。最後には大きな拍手をいただき、生徒たちもや

り切った笑顔であふれていました。



春陽まつり(施設内学級)

けやき学級の子どもたちは、図工や美術、家庭科、書写の作品を体育館前に展示発表しました。当日は、体育館で中三の劇を見て感動したり、本校の児童生徒の作品展示を見たり、高一のスタンプラリーを楽しんだりして、初めての本校の文化祭の雰囲気を楽しんでいました。

こぼと・中央の院内学級では、『6ぴきのかわいいオオカミ』という劇を行いました。児童生徒一人一人が表情や動きなどでキラリと輝く瞬間を皆さんに見ていただくことができました。普段は病棟内で学習している友達も教室と一緒に参加したり、ビデオ出演したりと、みんなで作り上げることができ、楽しい発表となりました。



春陽まつり(高等部)

高等部一年生「平成ヒストリー」令和とともに新しい自分になるう〜」では、お笑い、音楽、スポーツ、ニュースの4班に分かれて展示と発表をしました。自分たちの手で企画・運営を行った成果が表れ、緊張しながらも堂々と発表や接客をする姿が印象的でした。二年生「NEWS HARUHI」平成から令和へ〜」では、音楽、映像、スポーツの3班に分かれて発表をしました。お客様の笑顔や拍手は大きな喜びとなり、自信につながりました。三年生「Hero」本

当の強さって何だろう〜」では、練習からやる気満々で、あつという間にせりふを覚え、歌やリコーダー、トーチ、ダンス、演奏などもこつこつと練習する姿が見られました。お笑いあり、感動ありの真剣な舞台はとも迫力があり、堂々とした姿は立派でした。



宿泊学習(小五)

十月三日から四日の一泊で、春日井市少年自然の家に行きました。両日とも天気恵まれて、一日目は晴天日程でトリム(アスレチック)遊びをしました。ロープクライミングや忍者渡りなど、果敢に挑戦して森の中で自然を満喫しながら体を動かして楽しむことができました。また、山上にある展望台から見渡すことができ、子どもたちは学校や中央病院を見つけると大喜びしました。夜も夕食や入浴、夜のつどいなど盛りだくさん！疲れてすぐ寝る子、興奮して寝付けない子など様々でしたが、しばらくすると皆ぐっすり眠れました。

二日目は、オリエンテーリングを楽しみました。都市緑化植物園までみんなで歩き、動物を見たり、遊具で遊んだりしました。最後に飲んだジュースは格別だったようで満足気に、幸せそうに飲む表情が印象的でした。皆で楽しむことはもちろん、自分たちの力で頑張った二日間は子どもたちにとって、貴重な経験、思い出になりました。



野外活動(高二)

九月十八日から二十日まで二泊三日の野外活動に行ってきました。長野県にある駒ヶ根キャンプセンターは中央アルプス駒ヶ岳の麓で大自然を肌で身近に感じられるところです。一日目の夕方から少し天気が崩れ、キャンプファイヤーと夜のつどいを入れ替えました。じゃんけんゲームでは大盛り上がりでした。二日目は快晴となり、ハイキングに爽やかに出かけることができました。途中猿に遭遇し、びっくりしました。夜にはキャンプファイヤーで、スタンプや、フォークダンスで盛り上がりました。飯ごう炊飯では、カレーや、

クラスオリジナルの鍋を楽しみました。二回の飯ごう炊飯はクラスで役割分担して、調理や火起こし、準備や後片付けと、みんなで協力してやり遂げることができました。テントでの生活は、普段経験ができないものでしたので、暗闇での身支度などの経験は何か役に立つことでしょう。更なる成長に期待する二年生です。



修学旅行(高等部)

九月二十五日から二泊三日の日程で、東京方面へ修学旅行に出掛けました。三日間とも天気に恵まれ、爽やかな秋晴れの下、各地での活動を楽しむことができました。

初日は、朝八時半に名古屋駅に集合し、東京駅まで新幹線で移動をしました。この日の目的地は、東京スカイツリーで、地上三百五十メートルの展望デッキから、東京の景色を眺め、透明なガラスの床から地上を見下ろす体験などをしました。二日目は、東京ディズニーランドでグループごとにアトラクションやショーを楽しみました。三日目は、東京の下町浅草寺周辺で、街歩きや買い物をし、都内の様子を車窓から見学しながら帰途につきました。



修学旅行(中学部)

十月十日(木)から十一日(金)までの一泊二日で、大阪方面へ修学旅行に行ってきました。

一日目のユニバーサルスタジアムジャパンでは三つのグループに分かれて、それぞれが事前に計画していた行動スケジュールに沿って行動しました。自分たちで話し合っ選んだアトラクションやパレードを体験したり、買い物を楽しんだりして大興奮の生徒たちでした。

二日目の海遊館ではジンベエザメやイルカ、ペンギンなどたくさんさんの海の生物を間近で見たり、サメやエイに直接触る体験をしたりして貴重な経験ができました。昼食では、大阪名物のお好み焼きをみんなで食べました。

刺激的な体験がいっぱいで、良い思い出がたくさんできた修学旅行になりました。



修学旅行(小学部)

十月十七日(木)から十八日(金)までの一泊二日で、三重方面へ修学旅行に出掛けました。

一日目の目的地は伊勢シーパラダイスです。目の前に現れた大きなセイウチを見て、固まってしまう子や自分から触ろうとする子など、普段とは違う様子が見られました。様々な動物と触れ合う体験も楽しめました。

旅館では、温泉や豪華な食事に大興奮でした。疲れてすぐに眠った子もいれば、興奮のせいでなかなか眠れなかった子もいました。

二日目は鈴鹿サーキットです。あいにくの雨で、カッパを着用しながら過ごしました。雨の中でもたくさん乗り物に乗ることができました。

乗ったことのない乗り物に挑戦した子もいました。

十六名全員が笑顔いっぱい、思い出っばいの二日間でした。



愛びつく陸上競技大会

第三十七回愛びつく陸上競技大会が九月二十一日(土)に刈谷市で行われました。

今大会には高等部二十五名が参加しました。生徒たちは、夏休み後半から一生懸命練習を積み重ねてきました。

大会結果は、女子四百メートル走第四位、女子二百メートル走第三位となりました。多くの生徒が、自己記録を大きく更新することができました。一人一人成長することができた大会となりました。



後期校内実習 (高一・二)

十月七日から十八日までの二週間、六つの班に分かれて校内実習を行いました。高等部の校内実習は、どの班も一般の会社を想定した、緊張感をもった実習にしています。生徒はみな模擬会社の「社員」となり、先生たちは「〇〇社長」など肩書で呼ぶことで、意識を高めています。

実習の前後には「壮行会」「報告会」を行い、二週間の実習をみんなで頑張り通そうと連帯感を高めたり、各会社の成果の発表をして、健闘をたたえ合ったりしました。

この二週間で、集中力の持続や指示の遵守、挨拶や報告の仕方などの課題が見えました。生徒たちはこの反省を生かして日々の学校生活を送っています。卒業後の進路に向けて、これからも継続して頑張りたいです。



産業現場等における実習 (高二)

十月七日から二週間にわたり、高三の産業現場等における実習が行われました。高三の生徒四十八名のうち、企業就労を目指す生徒は七名、福祉就労を目指す生徒は四十一名です。(就労移行支援四名、就労継続支援A型十名、就労継続支援B型十三名、生活介護十名、地域活動支援二名、施設入所二名) この実習は、卒業後の進路を決定し、内定を勝ち取るための最後の実習となります。福祉事業所、企業を問わず、

産業現場等における実習 (高二)

前期で課題とされたことを見直し、全員が気持ちを引き締めて臨みました。前期実習と比べ、就業時間や通勤など卒業後の生活をより意識した形の実習となり、仕事の内容なども実際の就業を想定したものでなりました。生徒たちは今までに増して、コミュニケーションを心掛け、積極的に仕事をする姿が見られました。実習で見つかった課題を克服していけるよう、卒業後の社会人としての生活に向けて一日一日を

大切に過ごしてほしいと思います。



3 学期の主な行事予定

1月

- 7 日 (火) 第 3 学期始業式
- 8 日 (水) 進路説明会 (高 2)
- 14 日 (火) 授業参観、PTA 課題講習会
進路・校内実習・産業現場等
における実習説明会 (中 2)
- 20 日 (月) ~24 日 (金) 校内実習 (中 2)
産業現場等における実習 (高 2)
- 22 日 (水) 校外学習 (小 5)
- 27 日 (月) ~31 日 (金) 校内実習 (中 1)

2月

- 3 日 (月) 進路説明会 (高 3)
- 5 日 (水) 校外学習 (小 2)
- 7 日 (金) 校外学習 (小 4) 社会見学 (高 1)
- 10 日 (月) ~18 日 (火) 個別の懇談週間
(※17 日を除く)
- 14 日 (金) 校外学習 (小 3)
- 20 日 (木) 幼・高等部入学者選考
小・中学部入学説明会 (家庭学習日)
- 27 日 (木) 幼・高等部入学者選考合格発表

3月

- 4 日 (水) 高等部 卒業証書授与式
- 11 日 (水) 幼・小・中 卒業・修了証書授与式
- 12 日 (木) 幼・高等部入学説明会
- 13 日 (金) 授業参観
- 19 日 (木) 修了式